

灯

(あかり)

『汗を流して、未来を拓く』

令和5年12月11日(月) 第22号

文責：校長 森下 隆司

人権について考える ～玉之浦小中学校人権集会～

12月4日～10日の1週間は、「人権週間」として定められ、全国的に人権啓発活動を特に強化して行う期間となっています。玉之浦小中学校でも、各学年から人権集会実行委員に選ばれた子供たちが中心となり、6日に実施した人権集会の計画、運営を行いました。これまでの学校行事や活動は、教職員主導で計画、運営されることが多かったのですが、今回の人権集会は、人権集会実行委員が昼休みも使って準備にあたってきました。小中学生が一手に運営をする頼もしい姿に、玉之浦小中学校児童生徒の成長を感じつつ、人権集会に参加しました。

第1弾として、小中合同での人権集会を実施しました。各学年で考えた「人権宣言」の披露の後に、「ビリーブ」を全校で斉唱しました。本日5名の人権擁護員の方々に参加をしていただいたのですが、「このビリーブを聞くのが、毎年の楽しみ」と話してくれる委員さんもいらっしゃいました。子供たちの歌声は、どのように感じたのでしょうか。各学年が考えや人権宣言は、以下の通りです。どの人権宣言も、未だ改善の途中である玉之浦小中学校の課題に合致しています。子供たちの手で課題改善にむけて、意欲的に取り組む姿が見られるようになってくれば、より一層誇れる学校となるでしょう。子供たちの取り組みや意欲に寄り添いながら、教職員も支えていきたいと思えます。

- ・元気なあいさつをして、みんな仲良く楽しく過ごします。(小学1～4年)
- ・思いやりをもち、相手の気持ちを考えて行動します。(小学5、6年)
- ・一人一人の考えや個性を大切にし、いじめ・差別をしない学校にします。(中学1～3年)

第2弾は、5校時の時間を活用して、小学校人権集会を実施しました。人権擁護委員さんからのお話や紙芝居を通して、自分や友達を大切にすることを学んだようです。

第3弾は、先週の金曜日に、中学校で人権集会を行いました。劇を行うことを通して、人権意識を高める取り組みを行っています。くわしい内容については、次号で紹介します。

たまんなっ子じまん — 第69回子ども県展 その2—

21号で「長崎県小中学校『子ども県展』」の話題を掲載しました。その後、県担当課から正式なお知らせがあり、中学1年 田端 純さんの作品も「特選」を受賞していること、その他にも以下の通り、小中学校で5名の入選もありました。中学生の指導をしている村野 渉先生によると、純さんの作品は、1年生絵画部門において、特選に選ばれたのは五島市でただ一人だということです。玉之浦小中学校のように極小規模校から2名の特選、複数の入選者を出せるのは快挙です。子供たちの能力をしっかりと見極め、それぞれの力を引き出せる村野先生の指導の確かさに頼もしさを感じます。

【第69回長崎県小中学校子ども県展】

〔特選〕中学3年 中山穂乃香 『海の底には』

中学1年 田端 純 『中学生への道』 2名

〔入選〕中学1年 埴 未来、中学1年 中村 知也

中学2年 川脇 伊織、中学3年 林 真心

小学4年 高橋 杏沙 5名



第69回 長崎県子ども県展
「特選」『中学生への道』
玉之浦中学校 田端 純